

医療的ケア児コーディネーターの活動状況について

【加古川市医療的ケア児等連絡会の取り組み】

■「医療的ケア児等の支援に関する情報の集約や関係機関との定期的な情報の共有」の場として位置づけ、令和7年3月より2～3ヶ月に1回の頻度で開催している。

① 構成メンバー

- ・社会福祉法人 TRUST ころろ
- ・加古川中央市民病院 患者支援センター 小児在宅医療支援室
- ・加古川健康福祉事務所 地域保健課
- ・加古川市立こども療育センター
- ・訪問看護ステーション そらまめ
- ・加古川市(教育支援課、障がい者支援課、育児保健課、幼児保育課)
- ・東播磨圏域コーディネーター
- ・加古川市障がい者基幹相談支援センター【事務局】

② 協議事項

- ・医療的ケア児等コーディネーター(市町配置、研修修了者)の役割について共有
- ・医療的ケア児の利用できる短期入所事業所の不足状況を共有
- ・医療的ケア児の在宅移行後、保護者が復職の希望を出した際に、定員の加減で保育園が受け入れできないケースが続いたため、各参加者からの意見交換を踏まえ課題の整理を行った

③ 課題

- ・短期入所や保育園に限らず、児童発達支援、放課後等デイサービス等において医療的ケア児の利用を困難にしている背景として、看護師を配置できないことが明確となった原因として挙げられたのは、
 - i) 基本的に1人配置(特に保育園は)であるため、何か起きた場合は当該看護師が対応を判断し処置しなければならない
 - ii) 1人配置のため休みを取ることができない
 - iii) 小児の対応経験を持つ看護師がそもそも少ない(成人に比べて全身管理が難しい)
- ・在宅で安心して暮らし続けるためには、地域住民の理解や認識を広げていく必要がある

④ 今後の取り組み

- ・潜在的看護師の掘り起こし並びに市民への啓発を目的として、以下の研修を企画
日時:令和8年5月16日(土) 13:30～15:30
場所:SHOWAグループ市民会館 中ホール
※詳細は協議中